

経営比較分析表（令和3年度決算）

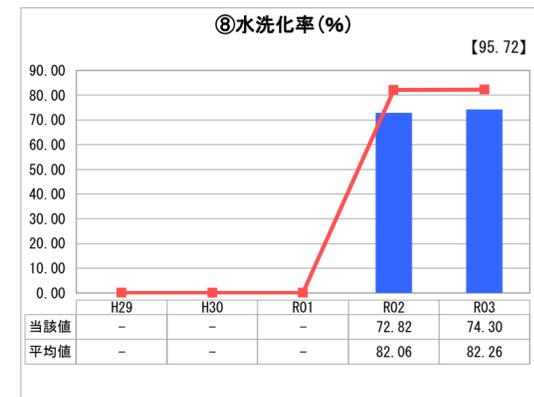
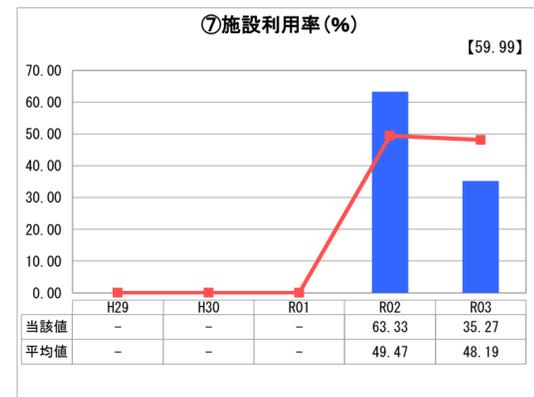
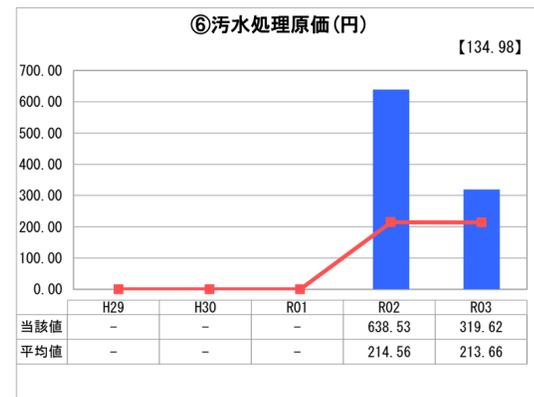
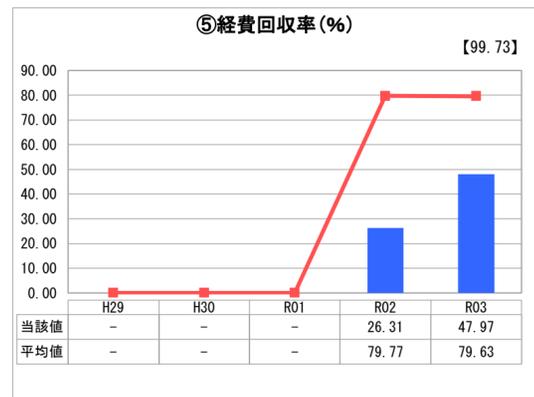
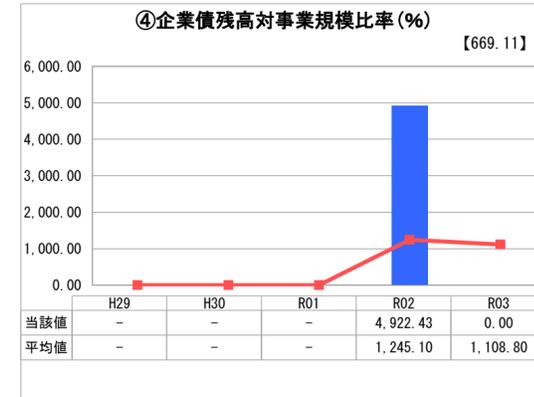
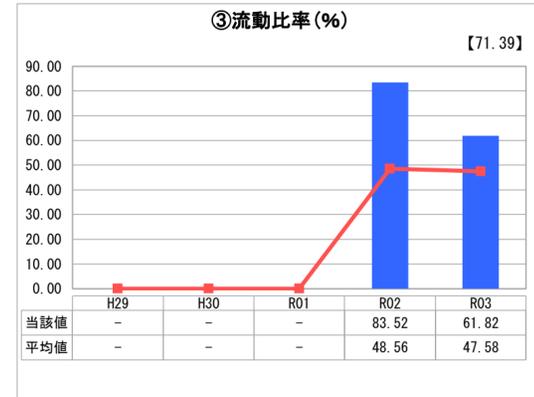
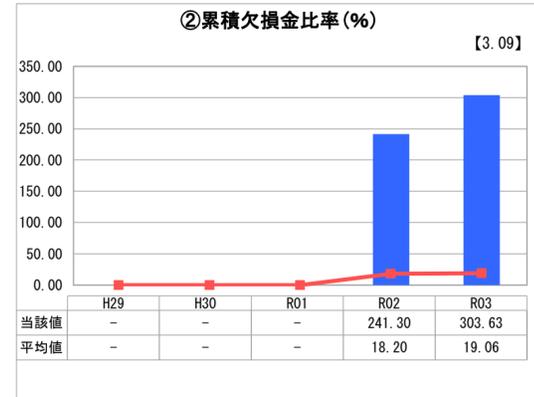
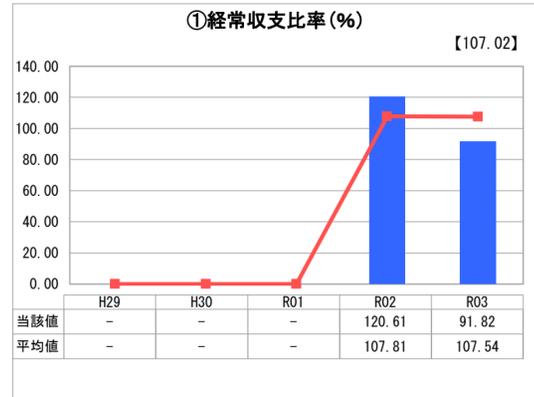
岩手県 大船渡市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	48.08	42.91	85.93	2,750

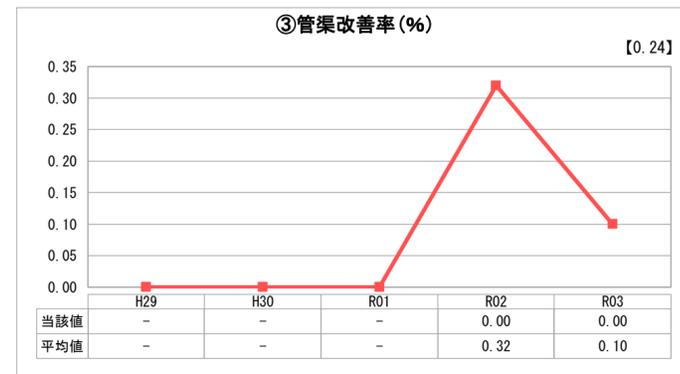
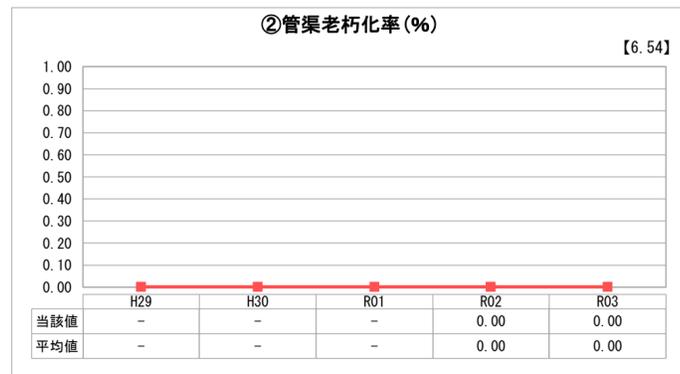
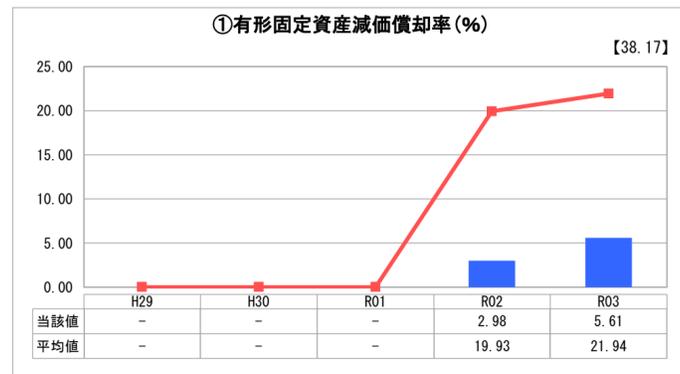
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
34,285	322.51	106.31
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
14,568	8.10	1,798.52

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
[]	令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率
一般会計からの繰入金の減少により、令和3年度は100%を切り、赤字となった。
- ② 累積欠損金比率
累積欠損金が発生し、蓄積している状態である。
- ③ 流動比率
100%を下回っており、1年以内に現金化できる資産で、1年以内に支払わなければならない負債を賄っていない。
- ④ 企業債残高対事業規模比率
一般会計の負担により、類似団体平均値よりも低い水準となっている。
※令和2年度以降、全額一般会計で負担することとしていたが、令和3年度決算統計から一般会計負担額を反映させたものである。
- ⑤ 経費回収率
前年度より数値は改善したものの、100%を下回っており、汚水処理にかかる経費を使用料で回収できていない。
- ⑥ 汚水処理原価
前年度より数値は改善されたものの、類似団体平均値と比較し、効率的な汚水処理が行われていない。
- ⑦ 施設利用率
施設整備による汚水処理の効率化により処理能力が向上したため、前年度に比べ、数値が低くなった。
- ⑧ 水洗化率
前年度と比較し、水洗化率は上昇している。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率
現在、法定耐用年数に近い資産はなく、まだ更新の必要性はない。
- ② 管渠老朽化率
現在、管渠の老朽化は進んでいない。
- ③ 管渠改善率
管渠延長の更新は行っていない。

全体総括

公共下水道事業は、平成4年度に管渠整備に着手し、平成6年度から供用を開始している。経営状況については、累積欠損金が蓄積していること、汚水処理費にかかる費用を使用料で回収できていないことなど、財源確保ができておらず、厳しい状況である。現在も管渠整備を進めており、供用区域の拡大に伴い、使用料収入の増収が一時的に見込まれるものの、同時に人口減少に伴う使用料収入の減少も見込まれることから、将来を見据えて、使用料水準の見直し、接続率向上対策及び経費削減に努めていく必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。